

JAの自己改革について

JA安芸 自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともにJA安芸は総合事業を展開します

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に取り組みます。
このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得増大や農業生産の拡大を目的に、農産物の販売や信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の准組合員の方には、地域農業の応援団として、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただいています。

農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

「農業者の所得の増大」「農業生産の拡大」に向けた主な取り組みをご報告します。

1. 都市農業振興に対する支援【平成30年度積立額：5,000千円】

農業関連支援事業および担い手支援に備えるため、積立額1億円を目標に「都市農業振興積立金」として毎年度積立を行っています。

2. 新規就農者に対する支援【新規就農者：1名】

農業経営に意欲のある人材を確保し、活力ある農業経営者の育成を支援するため、行政と連携して新規就農支援事業を行っています。

3. 生産者部会に対する支援【平成30年度新設：2部会（現在11部会）】

生産者（担い手農業者）同士の連携や販路の拡大および営農指導を強化するため、各種農作物の生産者部会の設立・支援や各種農作物の研修会等を開催しました。

4. 生産者の販路拡大に対する支援【平成30年度直売所販売高：4,007千円】

「JA安芸本店（毎週火曜日）」と「フジ海田店（毎週水曜日）」の2カ所に直売所を開設し、生産者の販路拡大の支援を行っています。

5. 担い手農業者に対する金融支援【平成30年度農業融資新規実行額：27件・87,755千円】

営農指導員による訪問活動や事業間連携（支店の融資担当者）により担い手農業者の金融ニーズを把握し、低金利の営農資金（3年間の利子補給制度）を提供しました。